

新学期スタート



4月7日(土)平成30年度入園・入学式が行われました。今年度は、幼児部20名、初等部71名、中等部28名、高等部20名の合計139名の新入生を迎え、470名でのスタートです。新入生とは言え、ほとんどの児童生徒は、幼児部年長から新1年生へ、6年生、中3年生はそのまま本校に進級するので、あまり不安もなくスムーズなスタートを切っていると思います。アメリカ国内や日本からの転入生は多少の不安はあるかもしれませんが、アメリカ滞在が長い心強い仲間がいるので、すぐに学校に慣れます。今年も夢と希望をもて補習校を満喫してほしいものです。



ニュージャージーにもスズランが咲いています

口恒例の中高中生登山

前日の雨の影響で気温が上がらず寒さを肌で感じながらの登山でした。高等部を先頭に出発して、山頂を目指しました。途中で雨で濡れている岩場や急な階段もあって大変なところもありましたが、徐々に視界が広がり、木々の間から遠くの景色が見えてきました。休憩とともにクラス写真を撮った岩場からはハドソン川のゆったりとした流れと遠くにマンハッタンの高層ビルがかすかに見え、清々しいひとときを過ごしました。



2018年(平成30年)5月19日(土)

今回は、国際学級の子供たちも参加して、みな最後まで集中力を切らずことなか、立派な作品を仕上げる事ができた。

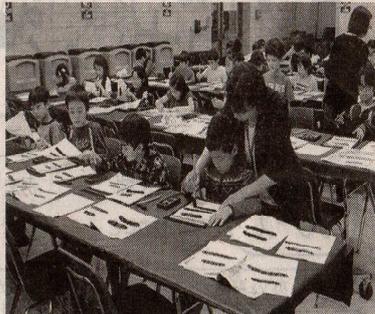
用して、前期と後期1回ずつ、年に2時間実施する、貴重な体験の時間となった。3年生にとっては初めての毛筆体験で、(硯すずり)、大筆、小筆、文鎮(ぶんちん)などの書道の道具に興味津々だった。今回は久永恵子教頭から、基本姿勢、筆の握り方や筆の入れ方、押さえ方などの基本を習った後、3年生は、2、4年生は、「大」という課題に取り組み、真剣に筆を走らせた。普段使っている鉛筆やペンを置いて、筆に墨を含ませて書くというのは子供たちにとって難しい作業のようだったが、「とめ、はね、はらい」を意識することで、日本の文字の持つ独特の美しさを表現できることを楽しんでいただけた。先生や保護者ボランティアのアドバイスを受けながら、一枚の紙が墨で真っ黒になるまで何回も練習を繰り返した。最後、集めた力を高めて清書に取り組んだ。背筋を伸ばし、心を落ち着かせて清書に取り組み、日本文化の素晴らしさを身をもって体験しているように見えた。

貴重な毛筆体験学習

ニュージャージー補習授業校

ニュージャージー補習授業校(天川博校長)は4月28日、3・4年生を対象とした「毛筆体験学習」が行われた。子供たちが日本の文化「書道」を体験することを目的に、各学級で保護者と担任による懇談会が行われている時間帯を利用した。

本学級は、子供たちが日本の文化「書道」を体験することを目的に、各学級で保護者と担任による懇談会が行われている時間帯を利用した。



□あわや銃撃戦！？

事件です！Ⅰ

右の写真は、火曜日から金曜日まで仕事をしている事務所ビル6階から撮影したものです。何やら外がサイレンや叫び声で騒がしく、窓からのぞいて見ると、パトカー10台の大捕物。後ろのパトカーに注目。三人の警官は本物のSWATで、一番前のSWATがショットガン（散弾銃）を構えています。発砲事件？何が起きているのかわかりません。この5分後くらいに、犯人（グレーの車）は急発進で逃走し、パトカーが追いかけて行きました。

目の前の出来事は、本当に怖い！帰宅する時は、心臓がドキドキしました。生きて帰国したいと思いました。



ショットガンで狙いを定めるSWAT。1発で即死です
(4月20日撮影)

NJ補習授業校の子どもたちは保護者が教室までドアT0ドアの送迎です。日本のように子どもが一人で歩いて登校することはアメリカでは考えられないことです。



NJ補習授業校では毎週土曜日2名の警官を雇い、校舎内外をパトロールしてもらっています。休み時間、外で子どもたちの遊ぶ姿を見守っています。アメリカの学校では普通の対応です。



□さらに爆弾予告も・・・

事件です！Ⅱ

NJ補習授業校が毎週土曜日に校舎を借りている（借用校）高校に、5月10日（木）爆弾予告がありました。警官が出動し、ニュースになる騒ぎがありました。この学校は過去にも爆弾予告騒動がありました。この学校はカソリックハイスクールなので、宗教上の（イスラム系からみ）問題なのか、変人の愉快犯なのかわかりません。アメリカにはいろいろな人たちが共存していますから・・・。今回は幸いにもいたずら電話ということが判明して、金曜日には平常授業に戻ったということで、本校の土曜スクールも通常通り行うことができました。

□スクールバスがダンプカーと衝突

(NHK NEWS WEB, AP通信)

5月17日の朝、ニューヨーク・マンハッタンから80キロほど離れたニュージャージー州マウント・オリープの高速道路で、スクールバスとダンプカーが衝突しました。ニュージャージー州の発表によると、この事故で、生徒と教師の少なくとも2人が死亡したほか、スクールバスに乗っていた生徒ら43人とダンプカーの運転手の合わせて44人がけがをして病院に運ばれました。

この事故で、スクールバスは大破し、生徒たちはバスの非常口から這って外に出るなどしたということです。

スクールバスは3台で社会見学に行く途中でした。

このバスには、平日現地校に通っていて、土曜日は本校に通っている児童生徒が数名いました。事故後すぐに安否確認をしました。事故車の前後のバスに乗っていたため、奇跡的に難を逃れました。

子どもたちの動揺や衝撃は大きく、心のケアのために、心の相談員がケアにあたっています。



バスは運転席が車体から外れ前方部分が大破し、中央分離帯に横たわっている

□またも銃乱射事件

(CNN) 米テキサス州ヒューストンに近いサンタフェ高校で5月18日、銃乱射事件があり、当局によると10人が死亡、10人が負傷した。法廷文書によれば、容疑者の男子生徒(17)は好意を抱いていた人物は撃たず、標的の人物に対しては殺意を持って発砲したと供述している。